

でんち

一般 電池工業会
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <http://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <http://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 淡路谷隆久

平成25年8月1日

福岡で「九州でんちフェスタ」を開催

一般社団法人電池工業会は、7月27日（土）に九州エネルギー館（福岡市）で「九州でんちフェスタ2013」を開催した。九州地区では、今回が初開催となり、多くの子どもたちとその父兄の方々とで終日賑わった。「でんちフェスタ」は中学生以下の子供たちに楽しみながら電池のことをいろいろと知ってもらおうというイベントで、東京を含む3都市で開催している。



「九州でんちフェスタ2013」は、九州エネルギー館（福岡市）で7月27日（土）に開催した。例年東京で11月に開催している“でんちフェスタ”の地方版で、九州地区では初の開催になる。

「九州でんちフェスタ」では、劇場として使っているところを会場として、「子どもでんち〇×クイズ」を実施した。これは、さまざま電池に関するクイズを〇×で答えるもので、クイズの正解発表後に、ス

テージ上の電池博士が答えの解説をするという形をとったが、一問一問が終わるごとに会場からは歓声やため息が上がり、毎回熱戦が繰り広げられた。勝ち残った正解者には、電池セットや文房具などの賞品を、途中で敗退したその他の参加者にも参加賞を用意しており、大いに楽しんでもらった。

隣接する会場で開催した「手作り乾電池教室」は、手作り乾電池キットを参加者1人1人が自分で組み立

て、氏名と日付を入れたオリジナルラベルをまいて、世界に一つしかない自分だけの乾電池を完成させるもので、こちらも人気を博していた。また、手づくり乾電池を使った「虎の子レース」では、乾電池の出来次第で虎の子が早く走ったりゆっくり走ったりするため、本人だけでなく家族も一緒に盛り上がっていた。「クイズラリー」は、さまざまな電池に関する問題をパネルの内容や展示物を見て答えるもので、正解がどこに隠されているか親子そろって探し回ってもらった。手回し発電機でミニ四駆を走らせる充電電池体験コーナーでは、順番待ちができるなど終日

大人気であった。また、自由な発想でみらいの電池を考えてもらう「みらいのでんちアイデアコンテスト」のコーナーでは色鉛筆やペンなどを使った絵やイラストを駆使したものや文字でびっしり埋められたものなど、多くの子供たちが応募してくれた。

でんちフェスタは、多くの子供たちに電池をもっと身近に感じてもらい、安全に正しく使ってもらい、正しくリサイクルしてもらい、科学にもっと関心をもってもらうことを目的に広報の活動の一環として実施している。



夏休みを中心に 「手づくり乾電池教室」を全国で開催

一般社団法人電池工業会は、本年も夏休みの企画の一つとして、小学生（主に3～6年生）および中学生を対象に「手づくり乾電池教室」を全国各地で実施します。

この電池教室は、全国各地の科学館や団体のご協力を得て、それぞれの科学館や団体の主催で実施するものです。電池工業会では、「手づくり乾電池教室」などを通じて“電池の勉強”と“その正しい使い方”の普及・啓発運動を進めて参りました。本年で22年目を迎えることになり、本年は下記24会場にて実施致します。



●内容

私たちの生活のさまざまな分野で重要な役割を担っている電池について正しく理解していただくため、お子様たちに実際に特製のキットを組み立てて単一形マンガン乾電池に近い電池を作っていただきます。この制作を通じて実際に体験したことが理科や科学の学習の一助になればと考えております。

また電池の知識をより深めていただくために、教室では、最初に啓発DVDを鑑賞し、電池の歴史、種

類、電池の原理、正しい使い方、電池のリサイクルなどについて学んでいただきます。そして、講師の指導の下で、手づくり乾電池を作成します。完成した手づくり乾電池を用いて豆電球が点灯したら完成です。この他、教室では炭を使った「炭電池」でファンを廻すなどの実験や人間も電池になる「人間電池」の実験を行うなど楽しめる内容となっています。

●本年の実施会場

県名	実施団体または会場	人数	実施日	実施開始時間
福岡	福岡県青少年科学館	50名	7月6日	10時30分、13時30分
神奈川	相模女子大学栄養科学部 健康栄養学科	15名	7月11日	13時
滋賀	京都技術士会	40名	7月20日	14時
福島	いわき市消費生活センター	14名	7月24日	13時
大阪	門真市立文化会館	28名	7月29日	13時30分
大阪	公益財団法人 関西消費者協会	36名	7月30日	13時30分
埼玉	所沢市教育委員会教育総務部生涯学習推進センター	40名	7月30日	10時
埼玉	彩の国くらしプラザ(アクティオ株式会社)	30名	7月31日	13時
大阪	産業技術総合研究所 関西センター	180名	8月3日	10時、13時、15時
東京	公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 江東区豊洲文化センター	40名	8月4日	10時、13時
埼玉	日高市高萩北公民館	30名	8月6日	13時30分
埼玉	彩の国くらしプラザ(アクティオ株式会社)	30名	8月7日	13時
埼玉	越谷市立児童館ヒマワリ	20名	8月8日	14時
北海道	北海道函館工業高校	40名	8月9日	9時
愛知	名古屋工業大学	40名	8月17日	13時
大阪	おおさかATCグリーンエコプラザ	50名	8月17日	14時
福島	郡山市ふれあい科学館	30名	8月25日	14時
愛知	岡崎市立中央図書館	50名	8月25日	13時
兵庫	姫路科学館	40名	8月25日	13時
茨城	鹿嶋市立波野小学校	50名	9月3日	13時35分
福岡	福岡市立青少年科学文化会館	50名	9月15日	13時30分
長野	長野市少年科学センター	20名	10月12日	13時
奈良	橿原市立こども科学館	50名	10月19日	13時
埼玉	さいたま市青少年宇宙科学館	20名	1月11日	13時30分

浜利蔵氏は、明治22年（1889年）に、現在の兵庫県豊岡市で生まれました。出石の高等小学校を卒業後、家事のブリキ職を手伝っておりましたが、明治39年の春18歳の時に上京して、日本乾電池製造株式会社に入社しました。これは、同郷の岡田悌蔵氏が同社の代表者であったからであろうといわれています。

明治39年の暮れに岡田氏が日本乾電池を出て独立して乾電池製造を開業した際、浜氏も共に行動するため、日本乾電池を退社しました。浜氏は岡田乾電池の創業当初からの功労者でした。大正12年（1923年）、インドネシアのジャワに渡って貿易商と共同で現地での乾電池製造に着手しました。しかし、これは結局失敗に終わり、その後日本に引き揚げてきました。

昭和7年に岡田乾電池が辻堂工場を松下電器に譲渡した際、石田良吉氏、大野順一氏等と共に、松下電器に転じました。同社の辻堂工場長として戦時下の乾電池生産に活躍しましたが、出張先の浜松で倒れ、昭和17年11月に不帰の客となりました。

辻堂工場で部下だった市川茂平氏は、「浜工場長は、立派な髭を生やしており古武士の面持ちを持ち、若い頃志を立てて単身ジャワに出かけて行ったこともあるという胆の大きい負けん気の強い発展的な人でした。容姿からは、大変地味に

見える反面、大好きな酒を飲むと洪い声で小唄を歌うし、また当時では珍しく、常に指輪をつけているといった面もあり、器用多芸でなんでもこなせる人でした。一方で、仕事においても私生活においても筋金の入った芯の強い人であった」と回想しています。

ジャワに出かけた際に、失敗をしたらいつでも日本に帰れるようにと帰国の旅費だけは手放さずに持っていたというエピソードなどは、氏の用心深い一面を物語っているようです。

工場にあっては、自ら現場に出て行って真っ黒になりながら作業を指導し、若い人々と共に試作研究にも努力するとともに、新しい機械もどんどん取り入れて生産の合理化に努めました。浜氏は、生産の管理に工場の経営に卓越した手腕を発揮して、乾電池工業発展の基礎を作り上げたのです。



浜 利蔵氏

平成25年 7月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	8日(月)	広報ワーキンググループ	九州でんちフェスタ実施内容に関する審議。
	10日(水)	国際環境規制総合委員会	地域別動向のフォロー。
	11日(木)	統計合同委員会	統計に関する規約・規程類の検討、他。
	26日(金)	広報総合委員会	各でんちフェスタ審議、電池PRキャンペーン審議、他。
	27日(土)	九州でんちフェスタ	九州地区(福岡市)の九州エネルギー館で開催。
二次電池部会	1日(月)	産業用電池リサイクル委員会	産業用電池リサイクルスキームの検討。
	1日(月)	S0101ワーキンググループ	SBA S0101 規格作成。
	5日(金)	自動車鉛分科会	EN規格 国内規格化検討、他。
	10日(水)	業務分科会	自主投票、区分・分類見直し、統計合同委員会での審議事項検討。
	19日(金)	自動車鉛分科会	EN規格 国内規格化検討、他。
	19日(金)	用語分科会	SBA S0405 規格作成作業。
	19日(金)	資材分科会	金型・部材供給情報、他。
	23日(火)	産業用電池リサイクル委員会	産業用電池リサイクルスキームの検討。
	25日(木)	S0101ワーキンググループ	SBA S0101 規格作成。
	26日(木)	PL・技サ合同委員会	市場不具合対策検討、他。
二次電池第2部会	5日(金)	再資源化委員会	小形充電式電池の識別表示ガイドラインに関する審議。
	17日(水)	ニッケル水素輸送ワーキンググループ	中国対応状況の情報交換。
	22日(月)	国際電池輸送委員会	「輸送の手引き」2014年補足内容審議。
	23日(火)	再資源化委員会	小形充電式電池の識別表示ガイドラインに関する審議。
	26日(金)	LIB安全性技術ワーキンググループ	強制内部短絡試験テクニカルレポートの審議。
一次電池部会	2日(火)	リチウムコイン二次電池国際規格WG	IEC 621336の改訂の為の検討。
	11日(木)	規格小委員会	IEC 60086シリーズの検討、JIS C 8514, 8513審議、他。
	12日(金)	リチウムコイン二次電池 国際規格WG	IEC62133の改訂のための検討。
	12日(金)	リチウム小委員会	IEC60086-4 CDV draft審議、IEC TC35 蘇州会議報告、他。
	23日(火)	リチウムコイン二次電池 国際規格WG	IEC62133の改訂の為の検討。

5月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2013年5月）

単位：数量—千個、金額—百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	315,349	56,439	91%	94%	1,613,794	289,525	89%	86%
一次電池計	194,288	6,649	89%	96%	1,020,394	33,723	90%	90%
酸化銀電池	57,381	1,069	76%	76%	321,027	5,629	85%	79%
アルカリ乾電池計	67,018	2,861	91%	91%	358,755	14,784	89%	87%
単 三	36,942	1,374	88%	88%	200,218	7,177	88%	87%
単 四	20,438	737	100%	94%	103,254	3,726	95%	89%
その他	9,638	750	85%	93%	55,283	3,881	86%	84%
リチウム電池	69,889	2,719	100%	113%	340,612	13,310	95%	101%
二次電池計	121,061	49,790	95%	94%	593,400	255,802	89%	85%
鉛電池計	2,170	10,524	99%	102%	12,685	63,666	96%	95%
自動車用	1,572	6,469	100%	107%	9,248	36,810	94%	94%
その他の鉛蓄電池	598	4,055	97%	96%	3,437	26,856	99%	96%
アルカリ蓄電池計	49,368	15,962	97%	93%	252,475	83,855	96%	89%
ニッケル水素	35,720	14,267	97%	92%	184,808	74,998	98%	88%
その他のアルカリ蓄電池	13,648	1,695	99%	102%	67,667	8,857	93%	98%
リチウムイオン蓄電池計	69,523	23,304	92%	92%	328,240	108,281	84%	78%
車載用	16,077	9,390	398%	94%	57,997	43,206	395%	74%
その他	53,446	13,914	75%	91%	270,243	65,075	72%	82%

5月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2013年5月）

単位：数量－千個、金額－百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	167,097	33,582	97%	129%	819,337	154,835	93%	115%
一次電池計	73,872	1,736	92%	102%	380,750	9,375	99%	101%
マンガン	0	7	0%	24%	1,161	60	39%	90%
アルカリ	6,271	81	138%	119%	20,682	347	96%	96%
酸化銀	35,967	536	93%	94%	200,147	2,898	107%	106%
リチウム	31,430	1,106	88%	107%	157,823	5,711	91%	102%
空気亜鉛	130	1	158%	172%	469	5	80%	92%
その他の一次	74	5	197%	104%	469	353	136%	69%
二次電池計	93,224	31,846	101%	131%	438,587	145,460	88%	116%
鉛蓄電池	160	875	148%	138%	866	4,261	137%	113%
ニカド	10,685	943	99%	104%	52,691	4,523	95%	95%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	0	0%	19%
ニッケル水素	11,807	5,768	112%	118%	59,446	27,056	105%	118%
リチウムイオン	66,401	17,635	103%	135%	303,419	79,953	86%	107%
その他の二次	4,171	6,624	65%	137%	22,166	29,668	67%	154%
全電池合計（輸 入）	106,988	11,065	91%	133%	598,960	52,057	107%	127%
一次電池計	98,471	1,779	90%	131%	558,562	8,317	107%	133%
マンガン	10,464	102	74%	105%	62,049	618	70%	98%
アルカリ	69,128	939	86%	113%	408,717	4,591	113%	121%
酸化銀	418	10	128%	115%	3,733	69	177%	134%
リチウム	14,536	637	139%	181%	65,638	2,565	139%	189%
空気亜鉛	3,847	59	107%	124%	18,267	280	91%	109%
その他の一次	78	32	10%	181%	157	193	7%	133%
二次電池計	8,517	9,286	115%	133%	40,398	43,740	105%	126%
鉛蓄電池	597	2,186	85%	90%	3,257	12,048	100%	102%
ニカド	176	216	82%	125%	840	921	26%	111%
ニッケル鉄	0	0	—	—	2	10	473%	1354%
ニッケル水素	1,880	534	95%	92%	9,724	2,440	118%	100%
リチウムイオン	4,120	5,217	112%	193%	19,948	23,646	103%	175%
その他の二次	1,745	1,132	214%	104%	6,627	4,674	153%	77%